

休日当番医など (2月1日~3月15日)

地域医療課 ☎27-8572

休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

2月6日(日)	山口医院	平作町	24-1811
	かしま病院	鹿島町下蔵持	58-8010
	こうじま慈愛病院	錦町	63-5141
	比佐医院	常磐湯本町	43-2313
11日(金)	ごらい耳鼻咽喉科	内郷小島町	85-5031
	中村病院	小名浜大原	53-3141
	松崎内科	植田町	63-3358
	常磐病院	常磐上湯長谷町	81-5522
13日(日)	すみたか内科クリニック	泉町滝尻	75-1560
	なこそ病院	勿来町	65-7755
	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188
20日(日)	磐城中央病院	小名浜南富岡	53-3511
	櫛田病院	植田町	63-3202
	かもめクリニック	草木台	28-1010
23日(水)	おおいし耳鼻咽喉科	内郷綴町	45-3387
	西山眼科医院	四倉町	32-3722
	小名浜生協病院	小名浜岡小名	53-4374
	佐藤マタニティー・クリニック	勿来町	65-6900
	かとう内科クリニック	常磐西郷町	72-0072
27日(日)	ふかや耳鼻咽喉科	小名浜住吉	58-1187
	呉羽総合病院	錦町	63-2181
	さかもと内科胃腸科クリニック	常磐関船町	72-2022
3月6日(日)	こまつ眼科クリニック	内郷高坂町	27-2800
	小林胃腸科・肛門科医院	小名浜元分	53-4466
	呉羽総合病院	錦町	63-2181
	吉成内科	常磐上湯長谷町	42-2220
13日(日)	かしま病院	鹿島町下蔵持	58-8010
	櫛田病院	植田町	63-3202
	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188

日曜 小児専門当番医 9時~12時

2月	6日	おおはらこどもクリニック	東田町	63-0001
	13日	むらまつ小児科	常磐関船町	72-0707
	20日	福田小児科医院	平下荒川	22-4272
	27日	こどもクリニックすずき	泉町	56-6336
3月	6日	相原小児科医院	内郷御殿町	26-5551
	13日	しがこどもクリニック	鹿島町久保	58-5505

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関、または消防テレホンガイド(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日診療協力医 ※休日当番医の場合は、左表に記載しています。

【内科】
須田医院 (小島町) 8時30分~12時 ☎27-6060
2月 11日、13日、23日、27日
3月 13日

山口医院 (平作町) 9時~17時 ☎24-1811	
2月 20日	3月 6日

【泌尿器科】
常磐病院 (常磐上湯長谷町) 9時~15時 ☎81-5522
2月 6日、13日、20日、23日、27日
3月 6日、13日

【眼科】
中央台たなか眼科 (中央台高久) 9時~14時 ☎29-1722
2月 6日、13日、20日、27日
3月 6日、13日

【皮膚科】
大田皮フ科医院 (四倉町) 9時~17時30分 ☎32-2787
2月 11日、23日

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。
※診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

休日夜間急病診療所【内科・小児科】
総合保健福祉センター隣 ☎27-1208
平日：20時~23時 土曜日：19時~23時
日曜日：14時~18時、19時~23時
祝日：9時~13時、14時~18時、19時~23時

※患者・医療従事者間における新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、同感染症・インフルエンザの検査は実施していません。

休日救急歯科診療所
総合保健福祉センター内 ☎27-8620
日曜日、祝日：9時~12時、13時~16時
(受付終了時間15時30分)

県子ども救急電話相談 ☎024-521-3790または#8000 (プッシュ回線・携帯電話)
毎日 19時~翌朝8時

●かかりつけ医を持ちまじょう

●「ハルニ」相談センター

●救急車は適正に利用しまじょう

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ(ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>)

心不全を発症する割合は高齢になるほど高くなること知られています。ある研究によると、五十歳代での心不全罹患率は1%であるのに対し、八十歳以上では10%になるとされています。今後、高齢化の進行に伴い、心不全患者が大幅に増加することが危惧されています。

心不全とは、心臓の機能が低下したために、さまざまな症状を来す病態を言います。動悸や息切れ、むくみなどが代表的な症状です。重症になると命の危険もあります。急性心不全で入院した方の約6%が入院中に亡くなり、一度退院しても約16%の方が心不全で再入院し、約22%の方が一年以内に亡くなるとされています。心不全は治療後の経過あるいは回復の見通しが良くない病気であり、死亡率は進行したがん匹敵するほどです。

心不全パニック

もし、動悸や息切れ、むくみなどがあれば早めに医療機関を受診しましょう。すでに心不全で治療中の方は、再発を防ぐためにも、根気よく治療を続けることが大事です。

新型コロナウイルス感染症が国を超えた広い地域で大流行しており、パニック下にあります。心不全患者の大幅な増加も感染症になぞらえて、心不全パニックと呼ばれています。心不全パニックが起ると、急増する心不全患者への医療供給体制が追い付かず、必要な治療を受けられない、入院が必要でも入院できないといった事態に陥ります。医療費も莫大となります。心不全パニックを避けるためには、心不全を早期に発見し、適切に治療して重症化を防ぐことが肝要です。市等が実施する健診などは積極的に受けましょう。

市民の

健康教室



提供・問い合わせ
一社いわき市医師会
☎38-4201

健康教室

総合診療科医療録⑪

けんこうQ&A

消化器科⑪

膣部子宮内膜症
月経の度に毎月へそ(膣部)が痛むという方はいませんか。それは、膣部子宮内膜症かもしれません。これは、膣部に子宮内膜に類似する組織が発育する疾患で、子宮内膜が血管やリンパ管に沿って膣部まで進展し、発症すると考えられています。月経時を中心に膣部痛や膣部からの出血を繰り返す、膣部にしこりがあることもあるので、美容的な観点からも勧めます。

お勧めします。

Q 膣部子宮内膜症とは何ですか？
A 膣部は食物を分解する消化酵素や血糖を下げるインスリンなどのホルモンを分泌しています。この膣臓にできるのが膣臓がんです。
Q 膣部子宮内膜症はどのような症状がありますか？
A 初期には症状がほとんどありません。進行してくると、腹痛や食欲不振、黄疽などが現れます。また、糖尿病を発病したり、悪化させたりすることがあります。
Q 膣部子宮内膜症の診断はどのように行われますか？
A 血液検査や腹部超音波、腹部CTによる診断が可能です。

Q 膣部子宮内膜症とは何ですか？
A 膣部は食物を分解する消化酵素や血糖を下げるインスリンなどのホルモンを分泌しています。この膣臓にできるのが膣臓がんです。
Q 膣部子宮内膜症はどのような症状がありますか？
A 初期には症状がほとんどありません。進行してくると、腹痛や食欲不振、黄疽などが現れます。また、糖尿病を発病したり、悪化させたりすることがあります。
Q 膣部子宮内膜症の診断はどのように行われますか？
A 血液検査や腹部超音波、腹部CTによる診断が可能です。